



# 岩江中だより

第 38 号  
 発行日：平成 28 年 1 月 8 日  
 発行：三春町立岩江中学校  
 電話：0247-62-8290  
 FAX：0247-62-8380  
 E-mail:school@iwae-jfks.ed.jp

学校経営基本方針『こころ豊かに』～「共に」語り合い、分かち合い、成長する学校～

## 【新年明けましておめでとうございます。～今年も元気に始めました。～】

平成 28 年の新年、明けましておめでとうございます。昨年に引き続き、岩江中学校の教育活動へのご理解・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

3 年生は本格的な受験にむけての取り組み、1・2 年生は冬休みの部活動などに一生懸命取り組んでいます。

今年も、岩江中学校から、子どもたちや先生方の笑顔の絶えない学校づくりに取り組んでまいります。



## 【『東北サンさんプロジェクト』「チャレンジド・スポーツアカデミーアスリートビジット in 福島」が岩江中で開催されます！～どうぞおいでください。～】

1 月 13 日（水）に、本校において、以下のようなねらい等で、『東北サンさんプロジェクト』「チャレンジド・スポーツアカデミーアスリートビジット in 福島」が開催されます。本日、別紙にてご案内並びにお願いのお知らせを子どもたちに配付いたしましたので、参加を希望なされるみなさまは、ぜひおいでください。

### 1 ねらい

東北に住むすべての人がもつ夢や希望に光がさんさんと降り注ぐよう、そして、地域全体が太陽（サン）のような笑顔で満たされる日々がやってくるようにという願いから、サントリーグループが東北各地で復興支援活動に取り組むプロジェクトで、さまざまなメディアや企業などと協力して支援活動をしています。その一環として、「チャレンジド・スポーツ（障がい者スポーツ）への支援」として、岩手県・宮城県・福島県のチャレンジド・アスリートやチャレンジドスポーツの振興を支援します。

2 実施期日 平成 28 年 1 月 13 日（水）13:15～15:25（2 時間）

3 参加者 1・2 年生生徒全員 69 名・教職員・参加を希望する保護者

4 会場 岩江中学校体育館

5 内容 (1)開会式 (2)トークセッション (3)車椅子バスケットボール体験授業  
 (4)感想・質疑応答 (5)閉会式

## 【第 3 学期が始まりました！～まとめと締めくくりの学期です。～】

1 月 8 日（金）の朝一番に、第 3 学期の始業式が行われました。校長式辞の後、各学年代表 3 名から決意表明がありました。1 年代表からは、社会科の勉強をがんばりたい、限られた時間で部活動を充実させたい、生徒会の充実、相手の立場を考えた生活を送りたいという発表が、2 年代表からは、1 2 月中の冬休みの課題を終わらせ、中体連で最高の結果を得られるよう冬休みは走り込みをがんばった、提出物を必ず出し、計画的に勉強に取り組みたいという意見が、3 年代表からは、受験に悔いを残さないよう取り組む決意、最後の 3 学期をあらゆる面で悔いの残らない時間としたいという意見が発表されました。



校長よりは、以下のように、これまでの子どもたちの成長の姿を紹介し、残り3ヶ月、『共に』成長していきましょうというお話をいたしました。

### 第3学期始業式式辞

H28. 1. 8 (金)

みなさん、明けましておめでとうございます。

時は、平成27年から28年へと移りかわり、この冬休みを通して、みなさんはまた一步成長しました。「自らの成長と言われても、なかなか実感がもてない。」というのが正直な気持ちかもしれませんが、今日の始業式では、みなさんのこれまでの学びを振り返り、自分たちの成長を自覚し、これから過ごす、新しい、平成28年の学びにつなげていってほしいと思います。

まず、みなさんには、4月の始業式・入学式で、岩江中学校の教育目標や、経営方針というものについてお話しました。教育目標は、『自立』、4つの視点は、『真理』・『博愛』・『健康』・『貢献』の4つ、経営方針は、『こころ豊かに』～「共に」語り合い、分かち合い、成長する学校～です。4月からの10ヶ月間、みなさんはもちろん、先生方も、この実現のためにさまざまな活動や指導に取り組んできました。みなさんの成長の一番目は、一つの目標に向かい、生徒のみなさんと先生方が、『共に』諸活動に取り組むことができたということです。まだ、そこまでいっていないという人は、残りの3ヶ月で、教育目標、4つの視点、経営方針がしっかり言えるようにしていきましょう。

二番目の成長は、4月に114人でスタートした岩江中学校が、一人も欠けることなく、新しい年を迎えることができたということです。入学式では、東日本大震災から4年を経過した3月11日の、『岩江中学校命を見つめる日』のお話をしました。『命』の重みは何ものにもまして大切であること、一人ひとりが安全に、安心して学校生活を送れることが学校生活の基本だともお話をしました。学校や教室という『公共の場』で、自分の気持ちと同じように、他の人の気持ちや立場を大切にしたい学校生活を心がけたからこそ、みなさんは、今日の始業式を迎えることができたのです。まだ自分はできていないと思う人こそ、これからさらに人として大きく成長できる可能性をたくさんもった人です。他の人の気持ちや立場をこれまで以上に大切に、残りの3ヶ月で、周囲の人から、「命の大切さ、かけがえのなさの分かる人になれたね。」と言われるよう努力し、いじめや事故の絶対のない学校づくりをめざす重要な一員となっていきましょう。

三番目の成長は、みなさんが、何のために学ぶのか、何をどう学ぶのか、学んだことをもとにどう生きていったらいいのかなどについて、幅広く、深く、考えられたことです。第1学期の終業式では、『差別』ということについてお話しました。ケンカした二人の一方を叱り、一方を励ますのを、必ずしも『差別』という一面だけでとらえるのではなく、問題への対処法の違いという見方もできるということ、そして、一つの物事を、見方をかえて幅広く、深く考えられることのできる生徒となりましょうともお話をしました。力の強い弱いや障がいのあるなし、肌の色で、人としての大切さ、かけがえのなさが左右されることは決してない。それが『真理』です。あと3ヶ月、今のみなさんのように、物事を多様な視点から、幅広く、深く見つめられる力にさらに磨きをかけていきましょう。

四番目の成長は、みなさんの気持ちの中に、「言っても仕方ないので言わない。」「書いても何もかわらないので書かない。」「助けてと言っても誰も助けてくれない。」「相手は強いから負けるのがわかっているので戦わない」という、自分は努力せずに、人に何かをしてもらいたいという気持ちをもつ人が少なくなったという点です。自分はまだまだかなと思う人は、残りの3ヶ月で、まずは、心を開き、「共に」語り合い、分かち合い、自分にできることは何かを考え、できることから少しずつ取り組んでいきましょう。そのお手伝いを先生方は必ずします。みんなが安心して生活できる学校づくりをめざすことで、先生方と「共に」成長してまいります。

そして、五番目の成長は、より多くのみなさんが、『チクチク言葉』を捨てて、人の心を温かくしてあげられる『あったか言葉』の使い手になれたということ、助けてもらった人は、きちんと、「ありがとう。」と伝えられるようになったことです。いわば、『当たり前のこと』に『ふつう』に取り組めるようになってきたのです。トイレのスリッパがいつもきれいに整えられているのはそのことを証明するものです。これからも、『自分にとってのふつう』から、みんなが納得できる『ふつう』に近づけるよう努めていきましょう。

このように、これまでみなさんは、日々、四季公園にある「まどい沢」や「七転び八起き坂」、「三年坂」、「いのしし峠」のような生きていく上での難所に、自分に負けずに、粘り強く挑み続け、仲間と共に歯を食いしばってがんばり続けたからこそ、より大きくて、深い満足感・充実感を味わうことができました。『続けること』と『積み重ねること』を大切にしながらがんばったみなさんの心の中にあるもの、それが、『私にはこれがある』というものです。これからもとどまることなく、少しでもたくさんの『私にはこれがある。』というものを見つける努力を続け、できるだけたくさんの『私にはこれがある』を、よりたくさんの指で指折り数えられるようにしていきましょう。

新しい年の初め、第3学期に始業式にあたり、これまでのみなさんの成長と、これからみなさんが進むべき道というものについてお話しました。3月の卒業式・修了式には、ここにいるすべての人が、「今日も力の限りがんばった。」「私にはこれがあった。」「岩江中学校でよかった。」と言える学校であるよう心からお祈りし式辞といたします。